



議会だより

いせん

第85号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3150

編集 議会広報編集委員会

印刷 株式会社美新印刷



令和7年2月17日 中央要望活動

～自民党森山幹事長及び関係省庁に「面縄港(商港)の機能拡大に資する施設整備について」要望書を提出～

令和7年第1回定例会

議案審議結果	2 P
一般質問	3～6 P
令和7年度当初予算現地調査	7 P
令和7年度当初予算の主なもの	8～9 P
自治功労者表彰・とくの島観光	
物産フェア	10 P
中央要望活動	11 P
議長動静・公式LINE・編集後記	12 P

令和7年第1回定例会(3月11日～21日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		井上和代	久保量	大河善市	杉山肇	牧本和英	佐田元	清平二	岡林剛也	上木千恵造	永田誠	福留達也	樺山一	美島盛秀		前徹志
議4	伊仙町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議5	伊仙町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議6	伊仙町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び伊仙町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議7	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議8	伊仙町学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議9	令和6年度伊仙町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	—	否決
議21	令和6年度伊仙町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議22	令和6年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議23	令和6年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議24	令和6年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議25	令和6年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議26	令和6年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議27	令和6年度伊仙町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議28	令和6年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議15	令和7年度伊仙町一般会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議16	令和7年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議17	令和7年度伊仙町介護保険特別会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議18	令和7年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議19	令和7年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議20	令和7年度伊仙町上水道事業会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決

【表の見方】 議：議案 ◎：全会一致 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：表決権なし

※前徹志議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

令和7年 第1回定例会

一般質問



大河 善市 議員

各事業における進捗状況について

問 阿三カシナトウ団地の令和7年度以降の建設計画について問う。

(建設課長)

答 阿三カシナトウ団地解体工事については、令和6年度内に発注し、契約繰越しとする予定。また、4月からの着工は可能だと考えている。今年度においては、鹿浦小学校建設工事を優先していくという方針を進めていくが、建築工事前にブロック積み工事やL字型擁壁工事など、敷地整備工事が必要になるので、補正予算での対応を考えて

いる。今後の計画では、令和8年度において、木造平屋3LDK2戸、2LDK2戸を予定しており、令和9年度も同様に、木造平屋3LDK2戸、2LDK2戸を予定している。

問 鹿浦小学校新校舎建設について、令和7年度予算において計上されている校舎解体工事及び仮校舎建設関連予算について問う。

(建設課長)

答 鹿浦小学校建て替え基本計画に沿って現地で建て替えを実施していく。先に仮校舎を設置後、引越しを行う予定であったが、議会からの指摘を受け、仮校舎については、再度検討が必要と考え学校側とも十分協議をした上で、今後の方針について、検討を行っていく。また、予算面においても、今後リース料に関しどこまで圧縮

できるか、また別の代替案があるか等も含め、教育委員会と学校側で協議をして、議会にお示ししていきたいと考えている。

問 鹿浦小学校周辺における地籍調査完了後の町有地の活用計画について問う。

(ざむらまち課長)

答 現在、地籍調査が行われており、今後、境界線確定後に近隣住民との意見交換や町有地活用検討会などを経て、魅力ある観光地事業等、県へ新たな候補地として推薦していきたいと考えている。また、観光地の施設として、公共トイレや展望台をはじめ、住民の皆様にも利活用していただける施設の整備を進めていきたいと考えている。

問 義名山公園整備事業について、令和7年度以降の整備計画について問う。

(社会教育課長)

答 令和7年度は、公園横にトイレを新設にし、その横に休憩施設を施工する

予定となっている。既設トイレについては、耐用年数の補助事業で整備しており、耐用年数の関係上、取壊しができないため、倉庫へ改修する予定としている。

子育て支援事業について

問 子育て世帯に対する令和7年度以降の保育料軽減対策及び取組みについて問う。

(子育て支援課長補佐)

答 3歳未満の保育料軽減については、令和7年度からの実施は財源の確保が厳しく、令和8年度以降の実施に向けて取り組んでいきたいと考えている。

直売所「百菜」及びびら館運営について

問 現在、町内に多くの民泊やゲストハウスが出現しているが、食事の提供に関する課題が見受けられる状況である。今後の百菜の取組みについて問う。また、直売所「百菜」及びびら館について、今後も町の運営を考えているのか。または、指定管理の

公募を行うのか問う。

(経済課長)

答 食事の提供に関して、現在、朝食のみ提供を行っている状況であり、夕食の提供については、スタッフ確保の観点から団体客の食事の提供については困難な状況にある。今後、予約制等を導入するなど、スタッフの確保状況や配置の時間等を検討していきたいと考えている。

(健康増進課長)

今後の運営については、地域公社の設立に向けて、事業の活用や直売所「百菜」も含まれていることから未来創生課・経済課・健康増進課で協議を重ねてきており、地域公社で運営をしていく方向で計画を進めている。

(未来創生課長)

地域公社立ち上げに係る費用等については、新設された新しい地方経済生活環境創生交付金を活用する予定であり、1月末に事業計画を申請しているところである。交付金決定後、予算を上程したいと考えている。



美島 盛秀 議員

大久保町長の町政全般における政治姿勢について

問

中央要望について
面縄港（商港）整備計画について令和7年2月17日に、森山幹事長、国土交通省、防衛省にて要望活動を行ったが、活動の要点を問う。

答

鳥の歴史と安全保障、南西防衛を考えた場合には、徳之島を守るためには、バックヤードがあり道路が整備された大型船が停泊する港が必要だということとを理解していただきたく全議員で要望活動を行った。

（未来創生課長）

2月17日に、国土交通省公安局稲田局長、自由民主党森山幹事長、防衛省地方

協力局森田次長に対して要望活動を行った。

要点としては、官民連携した要望活動を行うために、町議員をはじめ、1月に設立した面縄港整備推進協議会を代表して3名の方に参加していただいた。また、今回初めて防衛省への要望活動を行い、面縄港を整備するに当たり、災害時や有事の際にも対応できる港にするために、非常に有意義な要望活動であったと思う。

（建設課長）

今回、総勢26名で行った要望活動は非常に重要で、貴重な要望活動であったと感じている。
今後の取組みについては、まず、実現性の高いプランを練り、整備スキーム、計画を整理し環境アセスメントに取り組み、必要な作業を進めていく上で、要望活動を通し、よりよい条件において、国・県の整備計画に乗せることを目標としている。

農業振興について

問

①青年就農給付金事業の詳細について問う。
②当該事業交付対象者の就農状況について問う。

答

（経済課長）
①現在、町で行っている経営開始資金で交付を行っている。また、支援の拡充等については、令和6年度補正予算、国の補正予算において、世代交代円滑化タイプとして親元就農、また第三者からの譲渡等も内容に盛り込まれている。
②平成24年から現在に至るまで16名の方に給付しており、現在5名に対して継続して給付を行っている。また、これまでの伊仙町における給付者数16名のうち、2名は現在停止状態になっているが、他14名については、経営開始に向けて取り組んでいる方もおり、過去に給付を受けた方に関しては、自立して営農を始めているところである。

問

令和6年第4回定例会において、政争は全くないとの答弁であったが、大久保町長の権力行使が政争の具になっていないか問う。

答

（町長）
政争の具になっていないと確信している。政争ということはあるかもしれないことだと思っ

問

新庁舎建設について、新庁舎の完成はできるのか問う。

答

（総務課長）
現予算内で執行できるように設計事務所と協議をしながら見直し、修正等を行っていききたいと考えている。

今後のスケジュールについては、4月の県単価が発表された後に積算修正を行う予定としている。その後、4月末に発注、5月中に開札を行い、第2回定例会において上程し、令和7年度中の完成を目指している。

議会を傍聴してみませんか

議会の定例会は、年4回（通常3月、6月、9月、12月）開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

ネット配信も行っておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入口の受付表に、住所、氏名を記入していただくだけです。なお、次回の定例会（第3回）は、9月9日（火）から予定しております。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。電話番号 86-3150(直通)





福留 達也 議員

小規模校存続の政策について

問 小規模校存続によるこれまでの成果を問う。

(町長)

答

小規模校存続に関しては、二十数年の検証すべき時期にきたと考えている。単に小規模校だけでなく、伊仙町全体の8小学校、3中学校をいかに存続させていくかということ、それはまちづくりにとって大変重要なことだと思っていた。県下でも、郡内においても、結果として、統合した自治体は人口減少というところが出てくる。その中で、伊仙町の取組みは、小規模校区のデメリット等いろいろ言われたこともあったが、小規模校の存続につ

いては、国もいろいろな補助制度を新設おり、私たちが予想していた以上の成果があったと思う。時代の中で、地域・集落を存続させるために、現場にいる私たちが決断したことがよかつたのではないかと思っっている。

(教委総務課長)

令和5年度から実施している結い結い留学制度、また、特認校制度などを活用して、小規模校区の児童が減らないような形で増加維持に努めるよう政策をとっている。

結い結い留学においては、令和6年度は、4家族6名の方々が活用されており、令和7年度は、新規で3組の親子、また孫型という形で小規模校区への転入が予定されている。教育委員会としては、この結い結い留学制度を最大限活用して小規模校区存続の維持に努めていきたいと考えている。

問

課題等を踏まえた今後の取組みを問う。

(教育長)

答

小規模校のメリットとしては、少人数での授業、一人ひとりの子ども達へ目が行き届き子ども同士や教師との関りが濃く、温かい雰囲気醸成されやすく、成果として学力向上が図られていると捉えている。中学校においては、学習面で県の平均からすると下回っている状況が見られ本町の教育課題の一つとして挙げられる。今後、学校におけるキャリア教育などを充実させ、子どもたちに向学心を身に付けさせる必要性があると考えている。また、今後、小規模校に関わらず、通っている児童または保護者を対象に満足度調査等の意識確認を行っていく必要性も感じている。



世界自然遺産登録後の成果と課題について

問

登録前と比較して変化した点について問う。

(ぎゅらまち観光課長)

答

成果としては、全世界に徳之島をアピールできたとともに、島民の誇りとなったものと思われることや、島民の意識改革により、アマミノクロウサギなどの希少動植物の個体数が増加し、近年では伊仙町犬田布岳内に設置されているカメラにアマミノクロウサギが毎年確認されている。また、令和6年12月には、世界自然遺産センターが開所し、2月11日に11万人を突破した。

登録直後に、島外から大量の昆虫トラップが町内に仕掛けられているといった事案などが発生したため、令和4年度から希少動植物パトロールの実施や、令和5年度から町内の小中学生を対象に環境教育授業を実施している。

問

登録後に顕在化している課題について問う。

(ぎゅらまち観光課長)

答

外来種対策については、奄振事業を活用し外来駆除事業、また、令和5年度から発生している侵略的外来種であるシロアゴガエルに特化した特定外来生物早期予防計画策定事業などを行い対応している。

猫対策についても、奄振事業を活用し、世界自然遺産地域の野猫対策、また、人里の野猫対策としてTNR事業などを実施している。



特定外来生物「シロアゴガエル」



井上 和代 議員

ほーらい館周辺道路の現状について

問 ほーらい館入口広場への停止線や横断歩道が設置されないか問う。

(建設課長)

答 現在、公安委員会において、停止線を設置できない箇所には交通規制力のないドット停止線を注意喚起として公安委員会認証の下、設置している。ほーらい館周辺道路において、中央線や外側線が薄くなつてきている箇所については、修繕等を行っていききたいと考えている。

問 Aコープ伊仙店駐車場と町道との境界線や歩道線、優先道路の標識が設置されないか問う。

(建設課長)

答 Aコープ伊仙店駐車場と町道との境界が分りづらい状況なので、外側線としてドット線を検討している。歩道線については、狭い道なので、片側を歩行者が安全に通行できる幅を確保している。

国指定史跡のカムイヤキ窯跡等について

問 カムイヤキ窯について、子ども達が地元を知る活動の中でどのような対応がなされているのか問う。

(社会教育課長)

答 カムイヤキ窯が点在する森は、ほとんどが国有林となっており、伊仙町は林野庁と「遊々の森」協定を結び、入林事務の簡素化と遊歩道整備等を行い、窯跡の利用と森林の保護活用をし、生涯学習では、「徳之島のいろは」や「チャレンジ教室」などを行っている。教育面では、窯焼きについての座学の講

座や実際の遺物を見る、触る、破片を組み立てるなどの体験活動なども取り入れられている。カムイヤキの森は、歴史的環境のみならず自然環境も豊かで、それらの相互作用によって育まれた地域でもあるので、今後も様々な活用を試みたいと考えている。



徳之島のいろは 土器づくりイベントの様子

問 伊仙町には多くの遺跡が発見されているが、観光・教育・生涯学習の面でのように活用されているのか問う。

(町長)

答 南西諸島全体に11世紀から14世紀にかけて、カムイヤキの広大な交易をおこなっていた先人たちの行動は、我々が誇りにするべきことである。そして、この伊仙町の誇るべきカムイヤキは、琉球王朝というものが、形も何もない時代に韓国から渡ってきた数少ない方々が、カムイヤキという場所を見つけて大量に生産したということは、戦後、西日本における最大の発見だとも言われている。

このことを伊仙町が一体となつて歴史的価値のアービクルをしていくことを大きな目標としたい。

(ぎゅらまち課長)

令和8年度に策定予定の伊仙町観光基本計画にも力

ムイヤキ陶器窯等をはじめとした伊仙町の歴史文化的資源を活用した観光コンテンツとして盛り込むところである。また、カムイヤキに関連したイベントの開催、カムイヤキのキャラクター化、情報発信の強化について商工会などと連携を図っていく。

今後、学術調査などによって新たな発見も十分見込まれるため、その結果を基に、カムイヤキに特化した観光ルートの開発も順次検討していく。また、歴史や文化といった専門的な知識を有する人材の育成や、遺跡に関するストーリーの磨き上げについても、引き続き社会教育課と連携を進めていく。



令和7年第1回伊仙町議会定例会において

令和7年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算 審査特別委員会について

(一部抜粋※委員長報告につきましては、町ホームページ「各種委員会」をご確認ください)



町議会HP

去る3月13日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「令和7年度伊仙町一般会計他5特別会計予算」が当委員会に付託されました。3月14日から19日までの4日間、本特別委員会において慎重に審議致しました。

その中で、3月14日に、委員並びに議長を含む14名で、令和7年度当初予算に係る主な箇所について現地調査を行い、町長をはじめ、担当課長及び担当職員から詳細な説明を受け、現地調査を行いましたので、主な項目について報告いたします。

○給食センターについて、昭和41年より供用開始され今年で59年目を迎える同施設は、早急な建替えが必要となっており、現在の計画では隣地の町有地と私有地を購入し現地建替えで計画が進められていた。新たな施設では、衛生面に配慮された機器の導入をはじめ、災害時に備えた発電機や食材備蓄庫の整備、調理の様子が見学できるスペースが設けられているとの説明であった。新設にあたって給食センターが町民全体に幅広く利用されるよう、学校給食のみならず福祉施設や保育所などへも提供できる体制がとれないか検討すること。また、現在給食運搬に利用されている県道までの道路が狭いことから、並行して道路の整備計画も検討すること。台風時など定期船が欠航となった場合に備えた備蓄冷蔵庫の設置も検討されるよう要望した。



○鹿浦小学校建築については、地元関係者を中心にワークショップを開催し現地建替えとして基本計画が策定され、令和7年度から令和8年度にかけて建築が進められる予定としているが、補正予算審議や特別委員会において、仮設校舎に係る経費の問題や現地建替えとした場合の体育館の問題など多くの指摘事項が出された。補助事業といえど貴重な自主財源も伴うことから、事業全体の予算について再度精査する必要性が感じられたため、地元集落民を含め再検討されるよう要望した。



○世界遺産センターについて、昨年12月徳之島町花徳にオープンした同施設は環境省によって建設され、徳之島3カ町から各1名ずつの出向職員と2名の嘱託職員によって管理運営がなされている。施設内では、約150種のはく製やレプリカを配置して島の森が再現されたジオラマ。タッチパネルを使って動植物の詳しい解説や映像を拡大して細部まで見ることが出来るスペース。大きなガラス張りで世界自然遺産エリアである三方通岳を見渡しながらくつろぐスペースが設けられ、島の新たな観光拠点として期待されているが、来館者への対応として音声ガイダンスでの案内やQRコードを活用した説明等も取り入れることで利便性向上につながるのではないかと感じられた。



○歴史民俗資料館について、本町では国指定史跡である徳之島カムイヤキ陶器窯跡及び面縄貝塚をはじめ多く歴史的価値のある遺跡が発見されているが、学習教材としての取入れやイベント等を通じ町内外への更なる認知度向上に努め、「史跡のまち」や「カムイヤキのまち」として新たな観光資源に繋がられるよう取り組まれるよう要望した。



歳入・歳出それぞれ74億405万円に決定～

●伊仙町環境教育推進事業 【きゅらまち観光課】

330万円

令和7年度より全小中学校を対象とした環境教育を実施します。



●ばれいしょ農薬散布委託助成事業補助金 【経済課】

225万円

ばれいしょのドローンによる農薬散布に係る費用を助成します。



●各種教科検定料補助金 【教育委員会】

227万4千円

町内の小中学校生徒を対象に、教科毎(漢字検定・数学検定・英語検定)検定料を全額補助します。
※英語検定については、伊仙町役場にて行います。



●令和7年度伊仙町保育士等修学資金貸与 【子育て支援課】

72万円

保育士等養成施設に在学する者で、将来本町において保育士等として業務に従事しようとする方に対し修学資金を貸与します。



●合併浄化槽設置補助金 【きゅらまち観光課】

3千698万円8千円

単独浄化槽やくみ取り便槽から、合併浄化槽への転換を促進します。



詳しくは、各課担当へお問い合わせください！

令和7年度一般会計当初予算

～歳入・歳出予算の総額は、

●がんばる集落支援事業補助金 【総務課】

人口減少や高齢化の進展に伴って、集落の活力が低下していることを鑑み、集落自らが行う取組みに対して、補助金を交付します。

※集落区長を通して申請受付します。



150万円

●住宅改修費用補助金 【未来創生課】

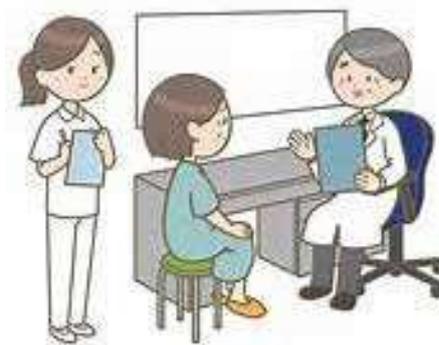
町内にある空家等を改修し、移住者の居住を支援します。



200万円

●伊仙町指定難病旅費助成 【地域福祉課】

伊仙町在住の指定難病患者の方が、島外の医療機関に入院又は通院する際にかかる旅費を助成します。



67万4千円

●伊仙町不妊治療旅費支援事業補助金 【子育て支援課】

特定不妊治療の指定医療機関の無い離島地域の経済的負担を軽減します。

※交通費及び宿泊費の一部を助成します。

※医療費については、徳之島保健所が申請窓口となります。



204万1千円

全国町村議会議長会永年勤続者(功労者)表彰



令和7年第1回定例会において、令和6年度全国町村議会議長会永年勤続者(自治功労者)表彰者の伝達式が執り行われました。15年以上在職し功労のあった議員として、この度、前徹志議長(阿三)・永田誠副議長(喜念)・福留達也議員(伊仙)の3名が表彰されました。

今後も伊仙町議会の一員として、更なる活躍をご期待します。



第10回“とくの島”観光・物産フェアin東京が開催されました



2/16(日)東京代々木公園野外ステージ及びイベント広場において、第10回“とくの島”観光・物産フェアが開催されました。10回目の節目の年ということもあり、全議員で参加して参りました。会場には、約2万人の来場者で賑わい、伊仙町ブースにおいては、徳之島コーヒーをはじめ、百菜より黒糖・サタ豆・島バナナ等の販売を行い、故郷の懐かしい味を求め購入される方々のい姿が多く見られました。

中央要望活動を実施しました

日 時：令和7年2月17日(月)10時00より

場 所：国土交通省、自民党本部、防衛省

参加者：大久保 明町長、寿はじめ県議会議員、面縄港整備推進協議会(代表3名)、
伊仙町議会議員14名、議会事務局2名、役場関係課5名 計26名

概 要：面縄港(商港)の機能拡大に資する施設整備について

この度、面縄港施設整備の実現に向け、各関係省庁へ官民一体となり要望活動を実施いたしました。

国土交通省では、稲田公安局長より、まずは、実現性の高いプランを練り整備スキームや費用を明確化、環境アセスメントへの取り組みについて助言をいただきました。

続いて、自民党本部を訪問し、森山幹事長より、安全保障の港湾整備をしていく上で、平土野港、亀徳港に海上保安庁、自衛隊が拠点することは難しい一方、歴史的背景がある面縄港は、地理的・海洋的にも有利なことから、今後、町・県・国交省・防衛省などの関係省庁と調整し作業を詰めていくとの前向きなお言葉をいただきました。

最後に、防衛省において、地方協力局森田次長より、今後、新たな特定利用港湾として各関係省庁と連携し政府内で検討を進めていく旨のご説明をいただきました。

南西防衛が重要視されている中で、面縄港施設整備の実現は、地域の安全保障や防災体制の強化にも寄与する重要な課題であり、伊仙町議会としても引き続き、実現に向け粘り強く要望活動を続けてまいりたいと思います。



国土交通省 稲田公安局長へ要望書を提出



自民党 森山幹事長との面会のようす



防衛省 森田次長へ要望書を提出

議会の動き

令和7年第1回伊仙町議会定例会における諸般の報告（議長の動静）

動静期間：令和6年第4回定例会（12月13日）以降の分

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
12月	18日	徳之島3カ町議会議員連絡協議会第2回役員会	天城町	2月	2日	奄美駐屯地・瀬戸内分屯地開設6周年記念式典	奄美市
	24日	徳之島世界遺産センター	徳之島町		4日	議会全員協議会	委員会室
1月	2日	令和7年 二十歳のつどい	ほーらい館		11日	徳之島コーヒー収穫祭	町内
	4日	伊仙町消防出初式	伊仙中学校		12日	徳之島三カ町議会議員大会	鹿児島市
	14日	徳之島建設業協会新年会	伊仙町内		13日	令和7年第1回臨時会	議事堂
	15日	議会全員協議会	委員会室		16日	第10回とくのみしま観光・物産フェア	東京都
	20日	正副議長研修会	奄美市		17日	中央要望活動	東京都
	22日	第1回面縄港整備推進協議会	大会議室		21日	第76回定期総会	鹿児島市
	23日	第4回徳之島地域公共交通活性化協議会	中央公民館		27日	徳之島ポイントカードシステム普及による経済活性化事業説明会	大会議室
	28日	議員研修会	鹿児島市		28日	各種協議会	奄美市
30日	奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会	名護市	3月	7日	議会運営委員会	委員会室	
2月	1日	赤土新ばれいしょ「春一番」出発式		総合体育館	10日	議会全員協議会	委員会室

徳之島交流ひろば「ほーらい館」よりお知らせです。

公式LINE開設しました

お友達登録をお願いします！

最新情報を、いち早くお届け！

最新情報、イベント・講演会のお知らせ、祝日営業のご案内 などなど

楽しい&役立つ情報がもりだくさん！

ぜひ、この機会に「お友達登録」をお願いします！



▲登録はこちらから

《追加方法》

下記のいずれかの方法で登録することができます。

- ①LINEでQRコードを読み取り登録
- ②LINEでID検索【@280fbxqo】して登録

ご登録お待ちしております！

編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様です。

農家の皆様におかれましては、今期のさとうきび製糖が終了し製糖実績では、17万1444トンと豊作となりまた馬鈴薯収穫作業も終了しましたが、前年度より農家の手取り額が大幅に高値で取引され、また、子牛の販売額も回復傾向にあり、畜産農家にも明るい兆しがみえ始めております。

大久保町長の6期目任期途中での辞任により、町長選挙が行われ、新たに伊田正則町長が誕生しました。選挙では、「子や孫に誇れるまち伊仙町」を目指し、派閥の垣根を越えて「オール伊仙町」で取り組むとの公約が掲げられました。今後の町政のさらなる発展に向けた取り組みに期待しております。

また、5月19日（月）には、議員大会開催記念闘牛大会、そして、翌20日（火）には、第66回奄美群島市町村議会議員大会が、14年ぶりに伊仙町で開催されました。多くの皆様のご協力により盛大に開催され、伊仙町を大いにアピールする機会となりました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。大会の詳細につきましては、次号（9月号）の議会だよりでご報告いたします。

今後とも、伊田町長のもと、伊仙町のさらなる発展に向けて議会としても連携を深めてまいります。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

文責 大河 善市

議会広報編集委員会

発行責任者 議長

委員長 前 徹志

副委員長 大河 善市

委員 井上 和代

委員 永田 誠

委員 清平 二



杉山 肇